

介護に関するアンケート

アンケートにアクセスしていただき、ありがとうございます。

このアンケートには、以下のような質問が含まれております。

- 介護のご経験の有無に関する質問
- 要介護者の方に関する質問

お答えづらい質問があるかと存じますが、主旨をご理解のうえ、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

ご回答いただいた内容により、個人が特定されることはありません。
アンケートの回答はすべて個人が特定できないよう処理をいたうえで使用させていただきます。

ご協力いただける場合は「開始」ボタンを押し、回答を開始してください。

開始

Q1_1 あなたの性別をお答えください。

〈回答は1つ〉

- ☐ 男性
- ☐ 女性

Q1_2 あなたの年齢をお答えください。

〈回答は半角数字で入力〉

歳

Q2 あなたの生まれた年と月をお答えください。

〈回答は半角数字で入力〉

年 月

Q3 あなたがお住まいの都道府県をお答えください。

〈回答は1つ〉

下記の中からお選びください ↓

北海道
青森県
岩手県
宮城県
秋田県
山形県
福島県
茨城県
栃木県
群馬県
埼玉県
千葉県
東京都
神奈川県
新潟県
富山県
石川県
福井県
山梨県
長野県
岐阜県
静岡県
愛知県
三重県
滋賀県
京都府
大阪府
兵庫県
奈良県
和歌山県
鳥取県
島根県
岡山県
広島県
山口県
徳島県
香川県
愛媛県
高知県
福岡県
佐賀県
長崎県
熊本県
大分県
宮崎県
鹿児島県
沖縄県
その他(海外等)

次のページ

Q4 あなたはご家族や親せきの介護をしたことがありますか。別居での介護を含めてお答えください。

- ※ 本調査でいう「介護」とは、日常生活における入浴・着替え・トイレ・移動・食事などの際の何らかの助けをいし、介護保険制度で要介護認定を受けていない人や、自宅外にいる家族の介護も含まれます。ただし、病気で一時的に寝ている人に対する看護は「介護」に含まれません。2週間以上の期間にわたる介護についてお答えください。
- ※ 障害をもっているお子さんなど、介護保険の対象でない14歳未満の方の介護や、介護施設・病院等に入っている方の介護も含まれます。
- ※ 主たる介護者だけでなく、手伝いなども含めて、少しでも介護にかかわっていた経験がある場合は、介護をしたことがあるものとしてお答えください。
- ※ 「現在介護中である」とは、要介護状態が継続していることを言います。現在、介護施設や病院等に入っている、他の家族や親せきが主に介護をしていることから、あなたが直接的に介護を担っていないでも、要介護状態が続いている場合は、「現在介護中」とお答えください。
- ※ 「現在介護中ではないが、過去に介護をしたことがある」とは、過去に介護をしていたご家族や親せきが、病状の回復や死去などによって、現在は介護を必要となくなっている場合を言います。あなたが直接的に介護を担っていないでも、まだ要介護状態にある場合は「現在介護中」としてください。

(回答は1つ)

- ☐ 現在介護中である
- ☐ 現在介護中ではないが、過去に介護をしたことがある
- ☐ 介護をしたことはない

次のページ

Q5 どのご家族や親せきの介護をしたことがありますか。あなたとの続柄をお答えください。

- ※ 複数のご家族・親せきの介護をした経験がある場合は、もっとも最近に介護した要介護者を1人お答えください。
- ※ 複数のご家族・親せきを同時に介護した経験がある場合は、あなたがもっとも深く介護にかかわった要介護者を1人お答えください。

(回答は1つ)

配偶者
子ども
自分の父
自分の母
自分の祖父・祖母
自分のおじ・おば
自分の兄弟・姉妹
その他の自分の親せき
配偶者の父
配偶者の母
配偶者の祖父・祖母
配偶者のおじ・おば
配偶者の兄弟・姉妹
その他の配偶者の親せき

Q6 %%q8[]%%が介護を必要としていた期間は何年何月から何年何月ですか。介護が発生した年月と介護が終了した年月をお答えください。

- ※ 介護の「発生」とは、要介護者が、ケガや病気の発症等により、介護を必要とする状態になることを言います。
- ※ 介護の「終了」とは、要介護者が、病状の回復や死亡等によって、介護を必要としない状態になることを言います。

(回答は半角数字で入力)

介護発生 年 月介護終了 年 月

次のページ

Q7 %%q8[]%%の介護は、どのように終わりましたか。

(回答は1つ)

- ☐ 要介護者が亡くなった
- ☐ 要介護状態から回復して、介護を必要となくなった

Q8 %%q8[]%%の介護が終了した時の要介護者の年齢をお答えください。

(回答は半角数字で入力)

 歳

次のページ

Q9 %q8[]%の介護終了当時のあなたの勤務先での従業員上の地位はどれにあたるものでしたか。

(回答は1つ)

※介護の終了を機に働き方が変わった方は、変わる前の状況をお答えください。学生としてアルバイトをしていた方は、「仕事をしていたなかった」としてください。

- ☐ 会社経営者・役員・自営業・自由業・内職・家族従業員（雇用以外の形態）
- ☐ 正規従業員（会社などの正社員・正職員として雇用される労働者、短時間正社員含む）
- ☐ パート・アルバイト・非常勤（通常の労働者より週の所定勤務時間が短い労働者。学生のアルバイトは除く）
- ☐ 契約社員（正規従業員以外で週の所定勤務時間が通常の労働者と同じ労働者）
- ☐ 派遣社員（労働者派遣法にもとづく派遣会社から派遣される労働者）
- ☐ 仕事はしていなかった（学生・専業主婦・専業主夫等を含む）

次のページ

Q10 その当時のあなたの仕事内容は、次のどれにあたるものでしたか。あてはまるものが複数ある場合は、主なものを1つお答えください。

※介護の終了を機に働き方が変わった方は、変わる前の状況をお答えください。

(回答は1つ)

- ☐ 専門・技術的職業（研究者、教師、情報技術者、医師、看護師、薬剤師、保育士、栄養士、編集者、通訳など）
- ☐ 管理的職業（会社・団体役員、課長以上の管理職、議員、市区町村長など）
- ☐ 事務職（応務、受付、秘書、集金、検針、営業事務、経理事務、企画事務、パソコン操作員など）
- ☐ 営業・販売職（小売店主・店員、不動産仲介人、バイヤー、セールス、保険外交員、MRなど）
- ☐ サービス職（調理師、美容師、ホームヘルパー、バーテンダー、給仕係、ビル管理人、ビラ配りなど）
- ☐ 保安的職業（警察官、自衛官、消防員、警備員など）
- ☐ 農林漁業作業（農耕、畜産、養殖、造園、植木職など）
- ☐ 生産工程従事者（組立工、印刷、CADオペレーター、自動車整備、塗装、婦人服仕立てなど）
- ☐ 輸送・機械運転従事者（運転手、バスガイド、ボイラーマン、発電員など）
- ☐ 建設・採掘従事者（大工、とび職、電気工事、豊職など）
- ☐ 運搬・清掃・包装等従事者（郵便配達員、引っ越し作業員、清掃員、包装など）
- ☐ その他 具体的に：

次のページ

Q11 介護終了時の勤務先でのあなたの役職はどれにあたるものでしたか。

※介護の終了を機に働き方が変わった方は、変わる前の状況をお答えください。

(回答は1つ)

- ☐ 部長以上
- ☐ 次長
- ☐ 課長
- ☐ 課長より下の役職
- ☐ 役職なし

次のページ

介護者の就業と
離職に関するアンケート

アンケートにアクセスしていただき、ありがとうございます。

本アンケートは、先日の介護に関するアンケートでご家族や親せきの介護をした経験があるとお答えした方にお送りしております。

本調査は、株式会社インテージリサーチが厚生労働省所管の独立行政法人労働政策研究・研修機構から委託を受け、業務の一部を株式会社インテージに委託して実施しております。調査結果は、介護休業制度の整備など、仕事と介護の両立に関する政策に役立てることを目的に、厚生労働省に報告いたします。同時に、労働政策研究・研修機構の研究成果としても公表いたします。ご回答は「△△」は〇〇％というように個人が特定できないよう処理いたしますので、調査の後で、ご迷惑をおかけすることはありません。仕事と介護の両立に関する政策の立案や評価のために、あなたのご経験やご意見をお聞かせいただけますと幸いです。

以降の質問は、先日のアンケートであなたが「%n[1]%年%n[2]%月～%n[3]%年%n[4]%月」に介護をしていたとご回答いただいた「%q2[1]%」の介護についてお答えいただけます。同時期に複数の方を介護していた方は、該当する方1人について質問にお答えいただきたくお願いいたします。要介護者と介護時期が異なる場合は、「開始ボタン」を押し、調査へお進みください。

本調査は、以下の5つのパートに分かれています。

(1)介護発生当時の介護と仕事の状況
(2)介護終了当時の介護と仕事の状況
(3)介護中の介護と仕事の状況
(4)仕事と介護の両立についての意識
(5)あなたご自身やご家族

この調査は途中で回答を中断しても同じ場所から再開可能ですので、最後までご回答ください。

ご協力いただける場合は「開始」ボタンを押し、回答を開始してください。

開始

(1)介護発生当時(要介護状態になってから最初の3か月程度の時期)の介護と仕事の状況についてうかがいます。

【介護の状況】

Q1 あなたが介護をしていた%q2[1]%はどのような病気やケガが原因で介護を必要とするようになりましたか。

※複数の病気やケガがあてはまる場合は、主なものを1つお答えください。
(回答は1つ)

☐	脳血管疾患（脳卒中）
☐	心疾患（心臓病）
☐	悪性新生物（がん）
☐	呼吸器疾患
☐	関節疾患
☐	認知症
☐	パーキンソン病
☐	糖尿病
☐	視覚・聴覚障害
☐	骨折・転倒
☐	脊髄損傷
☐	高齢による衰弱
☐	身体障がい
☐	知的障がい
☐	精神障がい
☐	その他 具体的に：
☐	わからない

次のページ

Q2 %q2[1]%が介護を必要とする状態になったのは、そのとき何回目でしたか。

※Q1の病気やケガより前に要介護状態になったことがない場合は、「1回目」とお答えください。ある病気やケガ（例えば骨折）によって要介護状態になった後、一度快復して介護を必要としなくなり、その後、新たに要介護状態になった場合は「2回目」と数えてください。（介護を必要としない状態まで快復しないまま、別の病気やケガをした場合は、1回目の要介護状態とお考えください）。
※あなたが介護をした要介護者状態について数えてください。
(回答は半角数字で入力)

回目

次のページ

Q3 介護発生当時、次のようなことはあてはまりましたか。

(回答は1つ)

	あてはまる	あてはまらない
あなたに介護してほしいと要介護者に言われた	☐	☐
自らすすんで介護しようと思った	☐	☐

次のページ

Q4 介護発生当時、あなたはどのくらいの頻度で、%%q2[]%%の介護をしていましたか。

（回答は1つ）

- ☐ ほぼ毎日
- ☐ 1週間に3～5日程度
- ☐ 1週間に1～2日程度
- ☐ 月に2～3日程度
- ☐ 月に1日程度
- ☐ 2～3か月の間に1～2日程度
- ☐ 介護発生当時は、介護をほとんどしなかった

次のページ

Q5 介護発生当時、%%q2[]%%は、歩行について、どの程度手助け（介助）を必要としていましたか。

（回答は1つ）

- ☐ 手助けは不要（杖などを使えば、時間がかかっても自分で歩ける状態）
- ☐ 一部手助けが必要（別の人の手や肩を借りて歩ける状態）
- ☐ 全面的に手助けが必要（歩けない）

次のページ

Q6 介護発生当時、%%q2[]%%は、トイレについて、どの程度手助け（介助）を必要としていましたか。

（回答は1つ）

- ☐ 手助けは不要（自分で昼夜とも便所で行ける、あるいは、夜間のみ簡易便器を使ってできる状態）
- ☐ 一部手助けが必要（手助けがあれば、昼夜とも簡易便器で行ける、あるいは、夜間のみおむつを使用している状態）
- ☐ 全面的に手助けが必要（常時おむつを使用している）

次のページ

Q7 介護発生当時、%%q2[]%%は、食事について、どの程度手助け（介助）を必要としていましたか。

（回答は1つ）

- ☐ 手助けは不要（スプーンなどを使用すれば、一人で食事ができる状態）
- ☐ 一部手助けが必要（一部介助すれば、スプーンなどを使って食事ができる状態）
- ☐ 全面的に手助けが必要（付き添い者が食べさせなければ食事ができない状態）

次のページ

Q8 介護発生当時、%%q2[]%%は、入浴について、どの程度手助け（介助）を必要としていましたか。

（回答は1つ）

- ☐ 手助けは不要（自分で体を洗ったり、入浴ができる状態）
- ☐ 一部手助けが必要（体を洗うときや浴槽の出入りに手助けが必要な状態）
- ☐ 全面的に手助けが必要（特殊浴槽の使用や体を拭いてあげることも含む）

次のページ

Q9 介護発生当時、%%q2[]%%は、衣服の着替えについて、どの程度手助け（介助）を必要としていましたか。

（回答は1つ）

- ☐ 手助けは不要（自分で衣類の着替えができる状態）
- ☐ 一部手助けが必要（手助けをすれば、自分で着替えができる状態）
- ☐ 全面的に手助けが必要（自分でできない状態）

次のページ

Q10 介護発生当時、%%q2[]%%に認知症の症状はありましたか。

〈回答は1つ〉

- ☐ あった
- ☐ なかった

次のページ

「認知症の症状があった」と回答した方におうかがいします。

Q11 介護発生当時、%%q2[]%%について、以下にあてはまるものをそれぞれお選びください。

〈回答は1つ〉

	いつもあった	たまにあった	ほとんどなかった	なかった
意思疎通が困難なこと	☐	☐	☐	☐
徘徊・暴力・不潔行為など周囲に迷惑をかける行動	☐	☐	☐	☐
見守りが必要なこと	☐	☐	☐	☐

次のページ

Q12 介護発生当時、%%q2[]%%の要介護度はいくつでしたか。

〈回答は1つ〉

- 下記の中からお選びください ↓
- 下記の中からお選びください ↓
- 要支援1
- 要支援2
- 要介護1
- 要介護2
- 要介護3
- 要介護4
- 要介護5
- 要介護認定は受けていない
- わからない

次のページ

Q13 介護発生当時、あなたは、%%q2[]%%の主たる介護者でしたか。また、あなた以外に、%%q2[]%%の介護を担う家族や親せきはいましたか。

〈回答は1つ〉

- ☐ 自分が主たる介護者であり、自分以外にその要介護者の介護を担う家族や親せきはいなかった
- ☐ 自分が主たる介護者であったが、自分以外にも介護を担う家族や親せきがあった
- ☐ ほかの家族や親せきが主たる介護者であったが、自分もかなり介護をしていた
- ☐ ほかの家族や親せきが主たる介護者であったが、自分も少しは介護をしていた
- ☐ 自分は介護をしていなかった

次のページ

Q14 介護発生当時、あなたは要介護者を扶養したり、医療費や介護費用を負担したりしていましたか。以下のそれぞれについてお答えください。

〈回答は1つ〉

	していた	していなかった
要介護者を扶養	☐	☐
要介護者の医療費や介護費用を負担	☐	☐

次のページ

Q15 介護発生当時、%%q2[%]の介護において、あなたはどのようなことをしましたか。

(回答はいくつでも)

☐ 介護に関する情報収集や関係機関（自治体、介護サービス事業所など）への相談等（病院・介護施設などの下見を含む）
☐ 要介護者の介助（トイレ・入浴・食事などの手助け）
☐ 要介護者の家事（炊事・洗濯・掃除）支援や定期的な声かけ・見守り
☐ 金銭の管理
☐ 病院や介護施設の手続きや送迎（入退院とその手続き、入退所やその手続き、通院・通所の送迎・付き添い、救急搬送・緊急入院等の急変時の対応など）
☐ 介護保険の受給手続き（要介護認定、ケアマネージャーやかかりつけ医との面談など）
☐ 関係機関（病院・介護施設など）からの不定期な呼び出し対応
☐ 要介護者の住環境の整備（バリアフリー住宅への改修、転居、施設入所の準備など）
☐ 介護をしている他の家族・親せきの手助け・サポートなど
☐ 要介護者とともに過ごす（外出や旅行、話し相手）
☐ 終末期の対応（緊急入院や容態急変時の対応、臨終の立ち会いなど）
☐ その他 具体的に：

次のページ

Q16 介護発生当時、以下のようなことはありましたか。

(回答は1つ)

	あった	ややあった	あまりなかった	なかった
深夜の時間帯に介護をすること	☐	☐	☐	☐
介護が原因であなたの心身の健康状態が悪くなること	☐	☐	☐	☐
あなたの疲労回復やストレス解消のためにリフレッシュする時間	☐	☐	☐	☐

次のページ

Q17 介護発生当時、あなたの悩みを相談できる人は周りにいましたか。

(回答は1つ)

☐ いた

☐ いなかった

次のページ

【就業状況】

※次からの質問では、介護発生当時(要介護状態になってから最初の3か月程度の時期)のあなたのお仕事についてうかがいます。

※複数の勤務先で仕事をしていた方は、主な勤務先1つでの仕事についてお答えください。介護発生を機に仕事内容や働き方など、仕事に変化があった方は、変わる前についてお答えください。

※以下でいう「勤務先」や「会社」には 自営業や個人事業主として営んでいた事業や商売も含めてください。

次のページ

Q18 介護発生当時、あなたは収入をとまなう仕事をしていましたか。

※介護発生前から仕事をしていた方だけでなく、介護発生後3か月以内に新たに仕事を始めた方も「仕事をしていた」とお考えください。パートやアルバイトも仕事に含めますが、学生アルバイトは仕事に含めないでください。

(回答は1つ)

☐ 仕事をしていた

☐ 仕事をしていなかった

☐ 学生だった

次のページ

【介護期間】 %%n[1]%%年%%n[2]%%月～%%n[3]%%年%%n[4]%%月

Q19 介護発生当時の勤務先で仕事を始めた(入社した)のはいつですか。

※ご自身で起業して事業や商売を始めた方は起業した年・月をお答えください。

※学生時代のアルバイトや家業をそのまま続けていた場合は、卒業後にその仕事を始めた年・月をお答えください。

(回答は半角数字で入力)

年 月に入社(起業)

次のページ

Q20 介護発生当時のあなたの仕事内容はどれにあたるものでしたか。

※介護発生を機に働き方が変わった方は変わる前の状況をお答えください。
(回答は1つ)

☐ 専門・技術的職業（研究者、教師、情報技術者、医師、看護師、薬剤師、保育士、栄養士、栄養士、編集者、通訳など）
☐ 管理的職業（会社・団体役員、課長以上の管理職、議員、市区町村長など）
☐ 事務職（庶務、受付、秘書、集金、検針、営業事務、経理事務、企画事務、パソコン操作員など）
☐ 営業・販売職（小売店主・店員、不動産仲介人、バイヤー、セールス、保険外交員、MRなど）
☐ サービス職（調理師、美容師、ホームヘルパー、バーテンダー、給仕係、ビル管理人、ピラ配りなど）
☐ 保安的職業（警察官、自衛官、消防員、警備員など）
☐ 農林漁業作業（農耕、畜産、養殖、造園、植木職など）
☐ 生産工程従事者（組立工、印刷、CADオペレーター、自動車整備、塗装、婦人服仕立てなど）
☐ 輸送・機械運転従事者（運転手、バスガイド、ボイラーマン、発電員など）
☐ 建設・採掘従事者（大工、とび職、電気工事、豊職など）
☐ 運搬・清掃・包装等従事者（郵便配達員、引っ越し作業員、清掃員、包装など）
☐ その他 具体的に：

次のページ

介護発生当時のあなたの働き方についておうかがいします。

Q21 介護発生当時、あなたの1週間の就業日数は、休日出勤を含めてどのくらいでしたか。当時の平均的な日数をお答えください。

※介護発生を機に働き方が変わった方は変わる前の状況をお答えください。
(回答は1つ)

下記の中から選択ください ↓

下記の中から選択ください ↓

週に1日

週に2日

週に3日

週に4日

週に5日

週に6日

週に7日

次のページ

Q22 あなたの1日の就業時間は、残業も含めてどれくらいでしたか。介護発生当時の平均的な時間をお答えください。

※介護発生を機に働き方が変わった方は変わる前の状況をお答えください。
(回答は1つ)

下記の中から選択ください ↓

下記の中から選択ください ↓

1日3時間以内

1日3時間を超え、4時間以内

1日4時間を超え、5時間以内

1日5時間を超え、6時間以内

1日6時間を超え、7時間以内

1日7時間を超え、8時間以内

1日8時間を超え、9時間以内

1日9時間を超え、10時間以内

1日10時間を超え、11時間以内

1日11時間を超え、12時間以内

1日12時間を超え、13時間以内

1日13時間を超え、14時間以内

1日14時間を超え、15時間以内

1日15時間を超え、16時間以内

1日16時間を超え、17時間以内

1日17時間を超え、18時間以内

1日18時間を超え、19時間以内

1日19時間を超え、20時間以内

1日20時間を超えていた

次のページ

Q23 あなたが残業する日は、1週間に何日くらいありましたか。休日出勤を含む当時の平均的な日数をお答えください。

※介護発生を機に働き方が変わった方は変わる前の状況をお答えください。
(回答は1つ)

下記の中から選択ください ↓

下記の中から選択ください ↓

残業や休日出勤することはなかった

週に1日

週に2日

週に3日

週に4日

週に5日

週に6日

週に7日

次のページ

Q24 介護発生当時のあなたの所定の始業時刻は何時でしたか。早出を含まない所定の始業時刻をお答えください。

※日によって変わる場合は最も早い時刻をお答えください。
 ※介護発生を機に働き方が変わった方は変わる前の状況をお答えください。
 (回答は1つ)

- ☐ 午前5時より前
- ☐ 午前5時～6時前
- ☐ 午前6時～7時前
- ☐ 午前7時～8時前
- ☐ 午前8時～9時前
- ☐ 午前9時～10時前
- ☐ 午前10時～11時前
- ☐ 午前11時～12時前
- ☐ 午前12時以降

次のページ

Q25 介護発生当時のあなたの所定の終業時刻は何時でしたか。居残りを含まない所定の終業時刻をお答えください。

※日によって変わる場合は最も遅い時刻をお答えください。
 ※介護発生を機に働き方が変わった方は変わる前の状況をお答えください。
 (回答は1つ)

- ☐ 午後4時より前
- ☐ 午後4時～5時前
- ☐ 午後5時～6時前
- ☐ 午後6時～7時前
- ☐ 午後7時～8時前
- ☐ 午後8時～9時前
- ☐ 午後9時～10時前
- ☐ 午後10時以降

次のページ

Q26 介護発生当時、あなたは 深夜の時間帯(午後10時から午前5時の間)に勤務することが月にどのくらいありましたか。深夜の残業も含めてお答えください。

※介護発生を機に働き方が変わった方は変わる前の状況をお答えください。
 (回答は1つ)

- ☐ 月に4日以内
- ☐ 月に5～8日
- ☐ 月に9～12日
- ☐ 月に13日以上
- ☐ 深夜の時間帯に勤務することはなかった

次のページ

Q27 介護発生当時の仕事をあなたは好きでしたか。

※介護発生を機に働き方が変わった方は変わる前の状況をお答えください。
 (回答は1つ)

- ☐ 好きだった
- ☐ やや好きだった
- ☐ あまり好きではなかった
- ☐ 好きではなかった

次のページ

Q28 介護発生当時、あなたは 以下のように感じるがありましたか。

(回答は1つ)

	あった	ややあった	あまりなかった	なかった
介護のために仕事の責任を果たせていないと感じること	☐	☐	☐	☐
仕事のために介護がそろそろかかっていると感じる	☐	☐	☐	☐

次のページ

Q29 介護発生当時、あなたの従業上の地位はどれにあたるものでしたか。

※介護発生を機に働き方が変わった方は変わる前の状況をお答えください。
(回答は1つ)

- ☐ 会社経営者・役員・自営業・自由業・内職・家族従業員（雇用以外の形態）
- ☐ 正規従業員（会社などの正社員・正職員として雇用される労働者、短時間正社員含む）
- ☐ パート・アルバイト・非常勤（通常の労働者より週の所定勤務時間が短い労働者。学生のアルバイトは除く）
- ☐ 契約社員（正規従業員以外で週の所定勤務時間が通常の労働者と同じ労働者）
- ☐ 派遣社員（労働者派遣法にもとづく派遣会社から派遣される労働者）

次のページ

Q30 介護発生当時のあなたの役職はどれにあたるものでしたか。

※介護発生を機に働き方が変わった方は変わる前の状況をお答えください。
(回答は1つ)

- ☐ 部長以上
- ☐ 次長
- ☐ 課長
- ☐ 課長より下の役職
- ☐ 役職なし

次のページ

Q31 その勤務先で雇われていた従業員は、会社全体で何人くらいでしたか。

(回答は1つ)

- ☐ なし（家族従業員のみ）
- ☐ 1～4人
- ☐ 5～9人
- ☐ 10～29人
- ☐ 30～99人
- ☐ 100～299人
- ☐ 300～999人
- ☐ 1000人以上
- ☐ 官公庁・公営事業所

次のページ

Q32 介護発生当時のあなたの働き方について、次のようなことはあてはまりましたか。

※介護発生を機に働き方が変わった方は変わる前の状況をお答えください。
(回答は1つ)

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1日の作業量を自分で決めることができた	☐	☐	☐	☐
作業のスケジュールを自分で決めることができた	☐	☐	☐	☐
自分の都合で始業・終業時刻を変更できた	☐	☐	☐	☐
就業時間の途中で職場を離れる（中抜けする）ことができた	☐	☐	☐	☐
自宅で作業をすることができた	☐	☐	☐	☐
希望どおりに休暇を取ることができた	☐	☐	☐	☐
仕事を休んだときに自分の職務を代わりにできる人がいた	☐	☐	☐	☐
締め切りや納期に追われてスケジュールに余裕がなかった	☐	☐	☐	☐
業務の性質（外勤の多い仕事など）から、始業・終業時刻が日によって変わることがあった	☐	☐	☐	☐

次のページ

Q33 介護発生当時のあなたの働き方について、次のようなことはあてはまりましたか。

※介護発生を機に働き方が変わった方は変わる前の状況をお答えください。
 (回答は1つ)

	あてはまる	あてはまらない
対外的な折衝の多い職務(渉外、バイヤー、法人営業など)があった	☐	☐
顧客のもとに向いて行う職務(外回りの営業、顧客先での常駐、集金・集荷など)があった	☐	☐
職業資格を必要とする職務だった	☐	☐
宿泊をともなう出張があった	☐	☐
転居をともなう転勤があった	☐	☐
仕事が原因でけがや病気をしたことがあった(過労や業務中の事故など)	☐	☐

次のページ

Q34 介護発生当時、あなたは勤務先でどのような勤務時間制度を適用されていましたか。

※介護発生を機に働き方が変わった方は変わる前の状況をお答えください。
 (回答は1つ)

- ☐ 通常の勤務時間制度（以下に該当しない場合）
- ☐ 交替制・シフト制（日によって異なる始業・終業時刻が定められていた）
- ☐ 変形労働時間制（繁忙期など一定の期間だけ異なる勤務時間が定められていた）
- ☐ フレックスタイム制（一定の時間内で始業・終業時刻を自分で調整できた）
- ☐ 事業場外のみなし労働時間制（外勤の多い仕事などのため、あらかじめ決められた時間を働いたとみなしていた）
- ☐ 裁量労働制（専門職・企画職等で、あらかじめ決められた時間を働いたとみなしていた）
- ☐ 時間管理なし（法律上の管理監督者など）

次のページ

Q35 介護発生当時の勤務先でのあなたの仕事の進捗管理はどのように行われていましたか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。

※介護発生を機に働き方が変わった方は変わる前の状況をお答えください。
 (回答はいくつでも)

- ☐ 日々終わらせる仕事が決められていた
- ☐ 週ごとに終わらせる仕事が決められていた
- ☐ 月ごとに終わらせる仕事が決められていた
- ☐ 半年ごとに終わらせる仕事が決められていた
- ☐ 1年間に終わらせる仕事が決められていた
- ☐ 進捗管理されていなかった

次のページ

Q36 介護発生当時、%q2[]%の介護のことを勤務先で話しましたか。

(回答はいくつでも)

- ☐ 勤務先の上司や同僚に話した
- ☐ 勤務先の人事担当者や両立支援の担当者に話した
- ☐ 労働組合の役員に話した
- ☐ その他の勤務先の人に話した 具体的に：
- ☐ 勤務先には話さなかった

次のページ

Q37 あなたが勤務先に介護のことを話さなかった理由をお答えください。

〈回答はいつでも〉

☐ 職場以外に相談先があったから
☐ 介護のことを言い出せる雰囲気職場ではないから
☐ 職場に迷惑をかけることになると思ったから
☐ 相談をしなくても仕事と介護を両立できたため
☐ 仕事に私生活を持ち込むべきではないと思ったから
☐ 介護と仕事の両立支援に消極的な職場だったから
☐ 昇進への影響など、自分のキャリアへの悪影響を心配したから
☐ 介護をしながら働いている同僚の待遇が良くないから
☐ 相談しても何も変わらないから
☐ その他 具体的に：

次のページ

Q38 介護発生当時の勤務先とあなたの関係について、次のようなことはあてはまりますか。介護発生前も含めて、介護が始まる前後の時期に経験したことをお答えください。

〈回答はいつでも〉

☐ 勤務先にある仕事と介護の両立支援制度について説明を受けた（メールでの告知やパンフレットなどの配付も含む）
☐ 介護保険制度や介護サービスの利用方法について勤務先で説明を受けた（メールでの告知やパンフレットなどの配付も含む）
☐ 介護のために会社を辞めないでほしいと勤務先でいわれた
☐ 自身の仕事と介護の両立について、勤務先で相談した
☐ 家族の介護をしながら働いた経験がある人が勤務先にいた
☐ なるべく残業はしないようにいわれていた
☐ 計画的に休暇を取るよういわれていた
☐ 私生活について上司や同僚と話しやすい雰囲気が職場にあった
☐ いずれもなかった

次のページ

Q39 あなたは、介護発生当時、勤務先以外の次のようなところから、仕事と介護の両立に関する情報提供を受けたことはありますか。あてはまるものをすべてお知らせください。

〈回答はいつでも〉

☐ 行政機関の職員や相談窓口（市区町村・地域包括支援センターなど）
☐ 要介護者の担当ケアマネージャー
☐ その他の医療や介護の専門家
☐ 介護を通して知り合った友人・知人
☐ その他の友人・知人
☐ 家族・親せき
☐ インターネットやテレビ・新聞・雑誌などのメディア
☐ その他 具体的に：
☐ 勤務先以外のどこからも助言や情報提供を受けていない

次のページ

Q40 介護発生当時、あなたの直属の上司は、仕事と介護の両立を図るあなたのために、どのようなことをしましたか。

〈回答はいくつでも〉

☐ 今後の働き方について、あなたの意思や希望を確認した

☐ 勤務先の両立支援制度の内容や制度利用中の処遇（評価、目標設定など）をあなたに説明した

☐ 担当業務の量や内容について相談した

☐ 職場の同僚などの理解を得るために、職場の中であなたの仕事と介護の両立について説明などを行った

☐ 職場の仕事の進め方（人員配置を含む）や働き方について、職場の中で検討し変えた

☐ 代替・補充要因の確保について相談した

☐ その他 具体的に：

☐ 特に何もしなかった

☐ 介護することを上司に伝えなかった

次のページ

※次からの質問では、介護発生当時の勤務先での、仕事と介護を両立する制度についてうかがいます。

※以下の質問でいう「介護休業」は、介護のために連続した期間取得できる休業をいい、「介護休暇」は介護のために1日以下の単位（半日や時間単位を含む）で取得できる休暇をいいます。

Q41 介護発生当時、勤務先には、あなたに適用される仕事と介護の両立支援制度はありましたか。次の制度はどうか。あてはまるものをお答えください。

〈回答は1つ〉

	あった	なかった	わからない
介護休業制度（介護のために連続した期間取得できる休業制度）	☐	☐	☐
介護休暇制度（介護のために1日以下の単位で取得できる休暇制度）	☐	☐	☐
1日の所定労働時間を短くする短時間勤務制度	☐	☐	☐
週の所定労働日数を減らす短時間勤務制度	☐	☐	☐
残業や休日労働を免除する制度	☐	☐	☐
フレックスタイム制	☐	☐	☐
始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ制度（時差出勤制度）	☐	☐	☐
残業時間を制限する勤務制度	☐	☐	☐
在宅勤務制度	☐	☐	☐
モバイルワーク（通信機器を用いて、外出先や移動中に仕事をする）	☐	☐	☐
サテライトオフィス（勤務地の事業所とは別の場所で仕事ができるオフィス）	☐	☐	☐
会社からの介護経費の援助	☐	☐	☐
共済互助会・労働組合等からの介護経費の援助	☐	☐	☐

次のページ

介護発生当時の勤務先の介護休業制度についておうかがいします。

Q42 介護休業の期間はどのように定められていましたか。

〈回答は1つ〉

☐ 3か月（93日）まで

☐ 3か月（93日）より長く6か月未満

☐ 6か月

☐ 6か月より長く1年未満

☐ 1年

☐ 1年より長い期間

☐ 期間の制限はなく、必要日数取得できた

☐ わからない

次のページ

Q43 介護休業を複数回に分割して取得することはできましたか。

〈回答は1つ〉

☐ 複数回に分割して取得できた

☐ 取得できるのは1回だけだった

☐ わからない

次のページ

Q44 介護休業中の所得保障はどのようになっていましたか。

〈回答はいくつでも〉

☐ 雇用保険からの給付があった
☐ 会社から賃金として支払われた
☐ 会社から福利厚生として給付された
☐ 共済互助会から給付された
☐ 労働組合等から給付された
☐ その他 具体的に：
☐ 所得保障の仕組みはなかった
☐ わからない

次のページ

Q45 所得保障は合計でどの程度の水準でしたか。

〈回答は1つ〉

☐ 4割未満
☐ 4割
☐ 4割超5割以下
☐ 5割超6割以下
☐ 6割超7割以下
☐ 7割超8割以下
☐ 8割超9割以下
☐ 9割超10割以下
☐ 従前の月額賃金を超える水準
☐ わからない

次のページ

介護発生当時の勤務先の介護休暇制度についておうかがいます。

Q46 要介護者1人あたり、年間何日まで介護休暇を取ることができましたか。

〈回答は1つ〉

☐ 年に5日未満
☐ 年に5日
☐ 年に6日から10日以内
☐ 年に11日から15日以内
☐ 年に16日から20日以内
☐ 年に21日から40日以内
☐ 年に41日以上
☐ わからない

次のページ

Q47 介護休暇の取得単位はどのようになっていましたか。

〈回答は1つ〉

☐ 一日単位
☐ 半日単位
☐ 時間単位
☐ わからない

次のページ

Q48 介護休暇は有給でしたか。

〈回答は1つ〉

☐ 有給☐ 無給☐ わからない

次のページ

※次からの質問では、介護発生当時の勤務先での、介護のための休業や休暇についてうかがいます。

Q49 介護発生当時の勤務先で、あなたは、介護休業をとったことはありましたか。

〈回答は1つ〉

☐ とったことがある☐ とったことはない

次のページ

Q50_1 いつ、介護休業をとりましたか。あなたが介護休業を開始した時期をお答えください。

〈回答はいくつでも〉

☐ 介護発生直後（介護発生後最初の3か月程度の時期）☐ 介護終了直前（介護終了前3か月程度の時期）☐ 介護中（上記を除く間の時期）

次のページ

【介護期間】 %n[1]%年%n[2]%月～%n[3]%年%n[4]%月
「介護発生当時の勤務先で介護休業をとった方」におうかがいします。

Q50_2 介護発生直後と介護終了前を除く介護中の期間で、あなたが介護休業をとったのはいつですか。

〈回答は半角数字で入力〉

 年 月

次のページ

Q51 何回、介護休業をとりましたか。

〈回答は1つ〉

☐ 1回☐ 2回☐ 3回☐ 4回☐ 5回☐ 6回以上

次のページ

Q52 通算してどのくらいの期間、介護休業をとりましたか。

〈回答は1つ〉

☐ 通算して1週間以内☐ 通算して1週間を超え2週間以内☐ 通算して2週間を超え1か月以内☐ 通算して1か月を超え2か月以内☐ 通算して2か月を超え3か月以内☐ 通算して3か月を超え6か月以内☐ 通算して6か月を超え1年以内☐ 通算して1年を超え2年以内☐ 通算して2年を超える期間

次のページ

Q53 あなたは、介護発生当時の勤務先で、介護休業に関わらず、何らかの方法によって、介護のために1週間を超える期間連続して仕事を休んだことはありましたか。

※連続して休んだ期間には、土日祝祭日も含めてください。

※Q49で介護休業をとったと答えた方は、介護休業を含めて、1週間を超える休みをとったことがあるかどうかについてお答えください。

〈回答は1つ〉

- ☐ はい
- ☐ いいえ

次のページ

Q54 あなたが連続して仕事を休んだ時期は、次のどれにあてはまりますか。あてはまるものをすべてお答えください。

〈回答はいくつでも〉

- ☐ 介護発生直後（介護発生後最初の3か月程度の時期）
- ☐ 介護終了直前（介護終了前3か月程度の時期）
- ☐ 介護中（上記を除く間の時期）

次のページ

Q55 あなたが1回に連続して休んだ最長の日数はどのくらいですか。

〈回答は1つ〉

- ☐ 1週間を超えて2週間以内
- ☐ 2週間を超えて1か月以内
- ☐ 1か月を超えて2か月以内
- ☐ 2か月を超えて3か月以内
- ☐ 3か月を超えて6か月以内
- ☐ 6か月を超えて1年以内
- ☐ 1年を超えて2年以内
- ☐ 2年を超える期間

次のページ

Q56 最も長く連続して仕事を休んだのはいつですか。

〈回答は1つ〉

- ☐ 介護発生直後（介護発生後最初の3か月程度の時期）
- ☐ 介護終了直前（介護終了前3か月程度の時期）
- ☐ 介護中（上記を除く間の時期）

次のページ

Q57 もっとも長く連続して休んだとき、どのような方法で休みましたか。

〈回答は1つ〉

- ☐ 介護休業をとった
- ☐ 介護休暇をとった
- ☐ 年次有給休暇をとった
- ☐ その他の休暇制度を利用した
- ☐ 欠勤または制度によらない方法で休んだ

次のページ

Q58 1週間を超える期間連続してあなたが仕事を休んだ回数は、介護期間全体を通じてどのくらいですか。

〈回答は1つ〉

- ☐ 1回
- ☐ 2回
- ☐ 3回
- ☐ 4回
- ☐ 5回
- ☐ 6回
- ☐ 7回
- ☐ 8回
- ☐ 9回
- ☐ 10回以上

次のページ

Q59 1週間を超える期間連続してあなたが休んだ日数の合計は、介護期間全体を通じてどのくらいですか。

〈回答は1つ〉

- ☐ 1週間を超えて2週間以内
- ☐ 2週間を超えて1か月以内
- ☐ 1か月を超えて2か月以内
- ☐ 2か月を超えて3か月以内
- ☐ 3か月を超えて6か月以内
- ☐ 6か月を超えて1年以内
- ☐ 1年を超えて2年以内
- ☐ 2年を超える期間

次のページ

Q60 1週間を超える期間連続して休んだ期間中にあなたが行った介護内容をお答えください。

〈回答はいくつでも〉

- ☐ 介護に関する情報収集や関係機関（自治体、介護サービス事業所など）への相談等（病院・介護施設などの下見を含む）
- ☐ 要介護者の介助（トイレ・入浴・食事などの手助け）
- ☐ 要介護者の家事（炊事・洗濯・掃除）支援や定期的な声かけ・見守り
- ☐ 金銭の管理
- ☐ 病院や介護施設の手続きや送迎（入退院とその手続き、入退所やその手続き、通院・通所の送迎・付き添い、救急搬送・緊急入院等の急変時の対応など）
- ☐ 介護保険の受給手続き（要介護認定、ケアマネージャーやかかりつけ医との面談など）
- ☐ 関係機関（病院・介護施設など）からの不定期な呼び出し対応
- ☐ 要介護者の住環境の整備（バリアフリー住宅への改修、転居、施設入所の準備など）
- ☐ 介護をしている他の家族・親せきの手助け・サポートなど
- ☐ 要介護者とともに過ごす（外出や旅行、話し相手など）
- ☐ 終末期の対応（緊急入院や容態急変時の対応、臨終の立ち会いなど）
- ☐ その他 具体的に：

次のページ

※次からの質問では、働き方の面で、あなたが介護発生当時の勤務先で行ったことについてうかがいます。

Q61 介護のために、あなたは介護発生当時の勤務先で次のことをした経験はありますか。それぞれに該当する制度（短時間勤務制度等）の有無にかかわらず、あなたが実際にしたものをすべてお答えください。

（回答はいくつでも）

- ☐ 1日の所定労働時間を短くした
- ☐ 週の所定労働日数を減らした
- ☐ 残業や休日出勤を免除してもらった
- ☐ フレックスタイム制を利用した
- ☐ 始業・終業時刻の繰上げ・繰下げをした
- ☐ 残業時間を制限した
- ☐ 在宅勤務をした
- ☐ モバイルワークをした
- ☐ サテライトオフィスを利用した
- ☐ 会社から介護経費の援助を受けた
- ☐ 共済互助会・労働組合等から介護経費の援助を受けた
- ☐ いずれもあてはまらない

次のページ

Q62 あなたが勤務時間を変更した理由に、次のようなことはあてはまりますか。あてはまるものを全てお答えください。

（回答はいくつでも）

- ☐ 在宅介護サービス（デイサービス、ホームヘルパー等）の利用時間に合わせるため
- ☐ 介護施設（特別養護老人ホームや老健施設）や病院の面会時間に合わせるため
- ☐ 自分以外に介護を担っている家族・親せきの都合に合わせるため
- ☐ いずれもあてはまらない

次のページ

「1日の所定労働時間を短くした」方におうかがいします。

Q63 短縮した1日の所定労働時間はどのくらいでしたか。

（回答は1つ）

- ☐ 30分以内
- ☐ 30分を超えて1時間以内
- ☐ 1時間を超えて2時間以内
- ☐ 2時間を超えて3時間以内
- ☐ 3時間を超える時間

次のページ

Q64 短縮して勤務した期間はどのくらいでしたか。

（回答は1つ）

- ☐ 1か月以内
- ☐ 1か月を超えて3か月以内
- ☐ 3か月を超えて6か月以内
- ☐ 6か月を超えて1年以内
- ☐ 1年を超えて3年以内
- ☐ 3年を超える期間

次のページ

Q65 所定労働時間を短縮するために、あなたの雇用形態を変更することはありましたか。

（回答は1つ）

- ☐ あった（例. 正社員からパートに契約変更した）
- ☐ なかった（例. 正社員のまま短時間勤務をした）

次のページ

「週の所定労働日数を減らした」方におうかがいします。

Q66 どのように労働日数を減らしましたか。

〈回答は1つ〉

- ☐ 週単位で特定の曜日に勤務しない
- ☐ 月単位で特定の曜日に勤務しない
- ☐ 年単位で特定の曜日に勤務しない
- ☐ 週単位で特定の日数は勤務しない
- ☐ 月単位で特定の日数は勤務しない
- ☐ 年単位で特定の日数は勤務しない
- ☐ その他 具体的に：

次のページ

Q67 月にどのくらい労働日数を減らしましたか。

〈回答は1つ〉

- ☐ 月に4日以内
- ☐ 月に4日を超えて8日以内
- ☐ 月に8日を超えて12日以内
- ☐ 月に13日以上

次のページ

Q68 労働日数を減らした期間はどのくらいですか。

〈回答は1つ〉

- ☐ 1か月以内
- ☐ 1か月を超えて3か月以内
- ☐ 3か月を超えて6か月以内
- ☐ 6か月を超えて1年以内
- ☐ 1年を超えて3年以内
- ☐ 3年を超える期間

次のページ

「残業の免除や残業時間の制限によって残業を減らした」方におうかがいします。

Q69 どのような方法で残業を減らしましたか。

〈回答は1つ〉

- ☐ 残業は一切しない
- ☐ 一週間に残業できる時間を決める
- ☐ 一か月に残業できる時間を決める
- ☐ 一年間に残業できる時間を決める
- ☐ 残業する曜日としない曜日を定める
- ☐ 残業が可能な日数を週単位や月単位で決める
- ☐ その他 具体的に：
- ☐ 特に定めていない

次のページ

Q70 どのくらいの期間、残業を減らしましたか。

〈回答は1つ〉

- ☐ 1か月以内
- ☐ 1か月を超えて3か月以内
- ☐ 3か月を超えて6か月以内
- ☐ 6か月を超えて1年以内
- ☐ 1年を超えて3年以内
- ☐ 3年を超える期間
- ☐ その他 具体的に：
- ☐ わからない

次のページ

※次からの質問では、介護発生当時の勤務先での、介護に関するあなたの経験についてうかがいます。

Q71 介護発生後最初の1年間に、あなたは当時の勤務先で次のような人事異動を経験したことがありましたか。

〈回答は1つ〉

	経験した	経験しなかつた
同一部内で課をまたぐ異動	☐	☐
部をまたぐ異動	☐	☐
職種が変わる異動	☐	☐
転居をともなわない転動	☐	☐
転居をともなう転動	☐	☐
課長以上の役職への昇進	☐	☐
関連会社や取引先への出向	☐	☐

次のページ

Q72 介護発生後最初の1年間に、あなたは当時の勤務先で介護を理由に仕事を休んだり、勤務時間を変更したことによって、次のような経験をしたことがありましたか。

〈回答はいくつでも〉

- ☐ 勤務評価を下げられた
- ☐ 昇進の見込みがなくなった
- ☐ 降格された
- ☐ 減給された
- ☐ 自宅待機を命じられた
- ☐ 受け入れがたい配置転換があった
- ☐ いじめや嫌がらせを受けた
- ☐ 退職を促された・解雇された・雇止めされた・契約を更新されなかった
- ☐ いずれもない
- ☐ 介護を理由として仕事を休んだり、勤務時間を変更したことはない

次のページ

Q73 あなたは、介護発生当時の勤務先(同じ会社)で介護終了まで仕事を続けましたか。

※以下、本調査で言う介護終了とは、病状の回復や死去により、要介護状態が終わることを言います。
介護の途中であなたが直接的に介護をしなくても、要介護状態が継続している場合は介護が終了していないものとお考えください。

〈回答は1つ〉

- ☐ 仕事を続けた
- ☐ 当時の勤務先は辞めた

次のページ

【介護期間】 %n[1]%n年%n[2]%n月～%n[3]%n年%n[4]%n月

Q74 介護発生当時の勤務先を辞めたのはいつでしたか。

※介護発生当時の勤務先は、%q22[1]%n年%q22[2]%n月に入社(起業)したとお答えです。
 (回答は半角数字で入力)

年 月に辞めた

次のページ

Q75 介護発生当時の勤務先をあなたが辞めた理由をお答えください。

(回答は1つでも)

☐ 自分に適用される仕事と介護の両立支援制度が職場になかった
☐ 要介護者が両立支援制度の対象外だった
☐ 介護のために仕事の責任を果たせなくなった
☐ 介護のために昇進の見込みがなくなった
☐ 介護のために待遇が下がった(例: 降格や減給を受けた等)
☐ 介護のためにいじめや嫌がらせを受けた
☐ 介護のために退職を促された・解雇された・雇止めされた・契約を更新されなかった
☐ 要介護者や家族に仕事を辞めよう言われた
☐ 介護する人が自分以外にいなかった
☐ 介護による心身の負担が大きくなり続けられなかった
☐ 介護にもっと時間を割きたいと思った
☐ 介護とは関係のない仕事上の理由で辞めた(例: 定年退職、雇用契約期間の満了、勤務先の倒産など)
☐ 介護とは関係のない私生活上の理由で辞めた(例: 結婚、出産、配偶者の転勤など)
☐ その他 具体的に:

次のページ

Q76 介護発生当時の勤務先を辞めた後、介護終了までの間に、あなたは収入のある仕事をしましたか。パート・アルバイトも仕事に含めますが、学生のアルバイトは含めないでください。

(回答は1つ)

☐ 介護終了までに仕事をした経験がある
☐ 介護終了までに仕事をした経験はない

次のページ

【介護期間】 %n[1]%n年%n[2]%n月～%n[3]%n年%n[4]%n月

「介護発生当時の勤務先を辞めた後、介護終了時までに新たな仕事を経験した方」におかがいます。

Q77 仕事を開始したのはいつですか。

(回答は半角数字で入力)

年 月に開始(入社・起業)

次のページ

Q78 次の勤務先で働き始めた当時のあなたの従業上の地位はどれでしたか。

(回答は1つ)

☐ 会社経営者・役員・自営業・自由業・内職・家族従業員(雇用以外の形態)
☐ 正規従業員(会社などの正社員・正職員として雇用される労働者、短時間正社員含む)
☐ パート・アルバイト・非常勤(通常の労働者より週の所定勤務時間が短い労働者。学生のアルバイトは除く)
☐ 契約社員(正規従業員以外で週の所定勤務時間が通常の労働者と同じ労働者)
☐ 派遣社員(労働者派遣法にもとづく派遣会社から派遣される労働者)

次のページ

(2)介護終了当時(介護が終わる直前の3か月程度の時期)の介護と仕事の状況についてうかがいます。

【介護の状況】

Q79 あなたは、介護が終わるまでの期間(余命宣告や全治期間)を、事前に医師等から知らされていたか。

〈回答は1つ〉

- ☐ 介護発生直後(介護発生後最初の3か月程度の時期)に知らされた
- ☐ 介護終了直前(介護終了前3か月程度の時期)に知らされた
- ☐ 介護中(上記を除く間の時期)に知らされた
- ☐ 知らされなかった

次のページ

Q80 実際に介護が終わったのは、事前に医師等から知らされていた期間よりも早かったですか、遅かったですか。

〈回答は1つ〉

- ☐ 早かった
- ☐ 遅かった
- ☐ ほぼ同じだった

次のページ

Q81 介護終了当時、あなたはどのくらいの頻度で、の介護をしていましたか。

〈回答は1つ〉

- ☐ ほぼ毎日
- ☐ 1週間に3～5日程度
- ☐ 1週間に1～2日程度
- ☐ 月に2～3日程度
- ☐ 月に1日程度
- ☐ 2～3か月の間に1～2日程度

次のページ

Q82 介護終了当時、以下のようなことはありましたか。

〈回答は1つ〉

	あった	ややあった	あまりなかった	なかった
深夜の時間帯に介護すること	☐	☐	☐	☐
介護が原因であなたの心身の健康状態が悪くなること	☐	☐	☐	☐
あなたの疲労回復やストレス解消のためにリフレッシュする時間	☐	☐	☐	☐

次のページ

Q83 介護終了当時の Q2 は、歩行について、どの程度手助け(介助)を必要としていましたか。

〈回答は1つ〉

- ☐ 手助けは不要(杖などを使えば、時間がかかっても自分で歩ける状態)
- ☐ 一部手助けが必要(別の人の手や肩を借りて歩ける状態)
- ☐ 全面的に手助けが必要(歩けない)

次のページ

Q84 介護終了当時の Q2 は、トイレについて、どの程度手助け(介助)を必要としていましたか。

〈回答は1つ〉

- ☐ 手助けは不要(自分で昼夜とも便所までできる、あるいは、夜間のみ簡易便器を使ってできる状態)
- ☐ 一部手助けが必要(手助けがあれば、昼夜とも簡易便器でできる、あるいは、夜間のみおむつを使用している状態)
- ☐ 全面的に手助けが必要(常時おむつを使用している)

次のページ

Q85 介護終了当時の%%q2[]%%は、食事について、どの程度手助け(介助)を必要としていましたか。

(回答は1つ)

- ☐ 手助けは不要（スプーンなどを使用すれば、一人で食事ができる状態）
- ☐ 一部手助けが必要（一部介助をすれば、スプーンなどを使って食事ができる状態）
- ☐ 全面的に手助けが必要（付き添い者が食べさせなければ食事ができない状態）

次のページ

Q86 介護終了当時の%%q2[]%%は、入浴について、どの程度手助け(介助)を必要としていましたか。

(回答は1つ)

- ☐ 手助けは不要（自分で体を洗ったり、入浴ができる状態）
- ☐ 一部手助けが必要（体を洗うときや浴槽の出入りに手助けが必要な状態）
- ☐ 全面的に手助けが必要（特殊浴槽の使用や体を拭いてあげることも含む）

次のページ

Q87 介護終了当時の%%q2[]%%は、衣類の着替えについて、どの程度手助け(介助)を必要としていましたか。

(回答は1つ)

- ☐ 手助けは不要（自分で衣類の着替えができる状態）
- ☐ 一部手助けが必要（手助けをすれば、自分で着替えができる状態）
- ☐ 全面的に手助けが必要（自分ではできない状態）

次のページ

Q88 介護終了当時の%%q2[]%%に、認知症の症状はありましたか。

(回答は1つ)

- ☐ あった
- ☐ なかった

次のページ

Q89 介護終了当時、以下について、それぞれあてはまるものをお選びください。

(回答は1つ)

	いつもあった	たまにあった	ほとんどなかった	なかった
要介護者との意思疎通が困難なこと	☐	☐	☐	☐
要介護者に徘徊・暴力・不潔行為などの迷惑を掛ける行動	☐	☐	☐	☐
要介護者の見守りが必要なこと	☐	☐	☐	☐

次のページ

Q90 介護終了当時の要介護度はいくつでしたか。

(回答は1つ)

- 下記の中からお選びください ↓
- 下記の中からお選びください ↓
- 要支援1
- 要支援2
- 要介護1
- 要介護2
- 要介護3
- 要介護4
- 要介護5
- 要介護認定は受けていない
- わからない

次のページ

Q91 介護終了当時、あなたは、%%q2[]%%の主たる介護者でしたか。また、あなた以外に、%%q2[]%%の介護を担う家族や親せきはいましたか。

《回答は1つ》

- ☐ 自分が主たる介護者であり、自分以外にその要介護者の介護を担う家族や親せきはいなかった
- ☐ 自分が主たる介護者であったが、自分以外にも介護を担う家族や親せきがあった
- ☐ ほかの家族や親せきが主たる介護者であったが、自分もかなり介護をしていた
- ☐ ほかの家族や親せきが主たる介護者であったが、自分も少しは介護をしていた
- ☐ 自分は介護をしていなかった

次のページ

Q92 介護終了当時、あなたは要介護者を扶養したり、医療費や介護費用を負担したりしていましたか。以下のそれぞれについてお答えください。

《回答は1つ》

	していた	していなかった
要介護者を扶養	☐	☐
要介護者の医療費や介護費用を負担	☐	☐

次のページ

Q93 介護終了当時、あなたの生活が経済的に苦しいと感じることはありましたか。

《回答は1つ》

かなり 苦しかった	やや 苦しかった	あまり 苦しくなかった	苦しくなかった
--------------	-------------	----------------	---------

次のページ

Q94 介護終了当時、%%q2[]%%の介護において、あなたはどのようなことをしましたか。

《回答はいくつでも》

- ☐ 介護に関する情報収集や関係機関（自治体、介護サービス事業所など）への相談等（病院・介護施設などの下見を含む）
- ☐ 要介護者の介助（トイレ・入浴・食事などの介助）
- ☐ 要介護者の家事（炊事・洗濯・掃除）支援や定期的な声かけ・見守り
- ☐ 金銭の管理
- ☐ 病院や介護施設の手続きや送迎（入退院とその手続き、入退所やその手続き、通院・通所の送迎・付き添い、救急搬送・緊急入院等の急変時の対応など）
- ☐ 介護保険の受給手続き（要介護認定、ケアマネージャーやかかりつけ医との面談など）
- ☐ 関係機関（病院・介護施設など）からの不定期な呼び出し対応
- ☐ 要介護者の住環境の整備（バリアフリー住宅への改修、転居、施設入所の準備など）
- ☐ 介護をしている他の家族・親せきの手助け・サポートなど
- ☐ 要介護者とともに過ごす（外出や旅行、話し相手など）
- ☐ 終末期の対応（緊急入院や容態急変時の対応、臨終の立ち会いなど）
- ☐ その他 具体的に：

次のページ

【就業状況】

※次からの質問では、介護終了当時（介護が終わる直前の3か月程度の時期）の就業状況についてうかがいます。

Q95 介護終了当時、あなたは収入をとまなう仕事をしていましたか。

《回答は1つ》

- ☐ 仕事をしていた
- ☐ 仕事をしていなかった
- ☐ 学生だった

次のページ

Q96 介護終了まで、あなたが仕事をしなかった理由をお答えください。

（回答はいくつでも）

☐ 介護に必要な時間が長く、仕事をする時間がなかった
☐ 介護をしながら働ける条件の仕事が見つからなかった
☐ 求職活動に十分な時間を割くことが出来なかった
☐ 要介護者に働かないで欲しいと言われた
☐ 家族に仕事をしないように言われた
☐ 自らの意思で介護に専念したかった
☐ 自分の健康状態が悪かった
☐ 介護以外の家事や育児のため
☐ 収入面で不安がなく、働く必要がなかった
☐ 介護とは関係なく、自分の希望にあう仕事があった
☐ その他 具体的に：

次のページ

【介護期間】 %n[1]%%年%n[2]%%月～%n[3]%%年%n[4]%%月

Q97 介護終了当時の勤務先であなたが働き始めたのはいつですか。

（回答は半角数字で入力）

年 月

次のページ

Q98 その勤務先で雇われていた従業員は、会社全体で何人くらいでしたか。

（回答は1つ）

☐ なし（家族従業員のみのみ）
☐ 1～4人
☐ 5～9人
☐ 10～29人
☐ 30～99人
☐ 100～299人
☐ 300～999人
☐ 1000人以上
☐ 官公庁・公営事業所

次のページ

Q99 介護終了当時、あなたの1週間の就業日数は、休日出勤を含めてどのくらいでしたか。当時の平均的な日数をお答えください。

※介護の終了を機に働き方が変わった方は変わる前の状況をお答えください。
（回答は1つ）

下記の中からお選びください ↓

下記の中からお選びください ↓

☐ 週に1日
☐ 週に2日
☐ 週に3日
☐ 週に4日
☐ 週に5日
☐ 週に6日
☐ 週に7日

次のページ

Q100 あなたの1日の就業時間は、残業も含めてどれくらいでしたか。介護終了当時の平均的な時間をお答えください。

※介護の終了を機に働き方が変わった方は変わる前の状況をお答えください。
(回答は1つ)

下記の中からお選びください ↓

下記の中からお選びください ↓

1日 3時間以内
1日 3時間を超え、4時間以内
1日 4時間を超え、5時間以内
1日 5時間を超え、6時間以内
1日 6時間を超え、7時間以内
1日 7時間を超え、8時間以内
1日 8時間を超え、9時間以内
1日 9時間を超え、10時間以内
1日 10時間を超え、11時間以内
1日 11時間を超え、12時間以内
1日 12時間を超え、13時間以内
1日 13時間を超え、14時間以内
1日 14時間を超え、15時間以内
1日 15時間を超え、16時間以内
1日 16時間を超え、17時間以内
1日 17時間を超え、18時間以内
1日 18時間を超え、19時間以内
1日 19時間を超え、20時間以内
1日 20時間を超えていた

次のページ

Q101 あなたが残業する日は、1週間に何日くらいありましたか。休日出勤を含む当時の平均的な日数をお答えください。

※介護の終了を機に働き方が変わった方は変わる前の状況をお答えください。
(回答は1つ)

下記の中からお選びください ↓

下記の中からお選びください ↓

残業や休日出勤することはなかった
週に1日
週に2日
週に3日
週に4日
週に5日
週に6日
週に7日

次のページ

Q102 介護終了当時のあなたの所定の始業時刻は何時でしたか。
早出を含まない所定の始業時刻をお答えください。

※日によって変わる場合は最も早い時刻をお答えください。
※介護の終了を機に働き方が変わった方は、変わる前の状況をお答えください。
(回答は1つ)

- ☐ 午前5時より前
- ☐ 午前5時～6時前
- ☐ 午前6時～7時前
- ☐ 午前7時～8時前
- ☐ 午前8時～9時前
- ☐ 午前9時～10時前
- ☐ 午前10時～11時前
- ☐ 午前11時～12時前
- ☐ 午前12時以降

次のページ

Q103 介護終了当時のあなたの所定の終業時刻は何時でしたか。居残りを含まない所定の終業時刻をお答えください。

※日によって変わる場合は最も遅い時刻をお答えください。
※介護の終了を機に働き方が変わった方は、変わる前の状況をお答えください。
(回答は1つ)

- ☐ 午後4時より前
- ☐ 午後4時～5時前
- ☐ 午後5時～6時前
- ☐ 午後6時～7時前
- ☐ 午後7時～8時前
- ☐ 午後8時～9時前
- ☐ 午後9時～10時前
- ☐ 午後10時以降

次のページ

Q104 介護終了当時、あなたは勤務先でどのような勤務時間制度を適用されていましたか。

※介護の終了を機に働き方が変わった方は変わる前の状況をお答えください。
(回答は1つ)

- ☐ 通常の勤務時間制度（以下に該当しない場合）
- ☐ 交替制・シフト制（日によって異なる始業・終業時刻が定められていた）
- ☐ 変形労働時間制（繁忙期など一定の期間だけ異なる勤務時間が定められていた）
- ☐ フレックスタイム制（一定の時間内で始業・終業時刻を自分で調整できた）
- ☐ 事業場外のみなし労働時間制（外勤の多い仕事などのため、あらかじめ決められた時間を働いたとみなしていた）
- ☐ 裁量労働制（専門職・企画職等で、あらかじめ決められた時間を働いたとみなしていた）
- ☐ 時間管理なし（法律上の管理監督者など）

次のページ

Q105 介護終了当時のあなたの働き方について、次のようなことはあてはまりましたか。

※介護の終了を機に働き方が変わった方は変わる前の状況をお答えください。
(回答は1つ)

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1日の作業量を自分で決めることができた	☐	☐	☐	☐
作業のスケジュールを自分で決めることができた	☐	☐	☐	☐
自分の都合で始業・終業時刻を変更できた	☐	☐	☐	☐
就業時間の途中で職場を離れる(中抜けする)ことができた	☐	☐	☐	☐
自宅で作業をすることができた	☐	☐	☐	☐
希望どおりに休暇を取ることができた	☐	☐	☐	☐

次のページ

Q106 介護終了当時、あなたは深夜の時間帯(午後10時から午前5時の間)に勤務することが月にどのくらいありましたか。

※介護の終了を機に働き方が変わった方は、変わる前の状況をお答えください。
(回答は1つ)

- ☐ 月に4日以内
- ☐ 月に4日を超え、8日以内
- ☐ 月に8日を超え、12日以内
- ☐ 月に12日を超える
- ☐ 深夜の時間帯に勤務をすることはなかった

次のページ

Q107 介護終了当時、勤務先には、あなたに適用される仕事と介護の両立支援制度がありましたか。次の制度はどうか。あてはまるものをお答えください。

(回答は1つ)

	あった	なかった	わからない
介護休業制度(介護のために連続した期間取得できる休業制度)	☐	☐	☐
介護休暇制度(介護のために1日以下の単位で取得できる休暇制度)	☐	☐	☐
1日の所定労働時間を短くする短時間勤務制度	☐	☐	☐
週の所定労働日数を少なくする短時間勤務制度	☐	☐	☐
残業や休日労働を免除する制度	☐	☐	☐
フレックスタイム制	☐	☐	☐
始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ制度(時差出勤制度)	☐	☐	☐
残業時間を制限する勤務制度	☐	☐	☐
在宅勤務制度	☐	☐	☐
モバイルワーク(通信機器を用いて、外出先や移動中に仕事をする)	☐	☐	☐
サテライトオフィス(勤務地の事業所とは別の場所で仕事ができるオフィス)	☐	☐	☐
会社からの介護経費の援助	☐	☐	☐
共済互助会・労働組合等からの介護経費の援助	☐	☐	☐

次のページ

Q108 介護発生当時と終了当時を比べて、あなたの収入に変化がありましたか。ご家族の収入を含めず、あなた自身の収入についてお答えください。

（回答は1つ）

大幅に増えた	少し増えた	ほとんど変わらない	少し減った	大幅に減った
--------	-------	-----------	-------	--------

次のページ

Q109 介護終了当時、あなたには、次のようなことがありましたか。

（回答は1つ）

	たびたびあった	たまにあった	なかった
仕事中に居眠りすること	☐	☐	☐
仕事中のちょっとしたことでイライラすること	☐	☐	☐
仕事の手を抜くこと	☐	☐	☐
気分が落ち込んで仕事をする気になれないこと	☐	☐	☐
不注意による仕事のミスすること	☐	☐	☐
重大な過失や事故を起こしそうになるとヤリ・ハットの経験	☐	☐	☐
予定したスケジュールどおりに仕事を進められないこと	☐	☐	☐
課された目標（ノルマ）を達成できないこと	☐	☐	☐
介護のために仕事の責任を果たせていないと感じること	☐	☐	☐
仕事のために介護があるそかになっていると感じること	☐	☐	☐

次のページ

（3）介護中の介護と仕事の状況についてうかがいます。

次のページ

Q110 介護発生から介護終了までの間に、少しでも収入のある仕事をしていたことはありますか。

（回答は1つ）

☐ ある

☐ ない

次のページ

Q111 あなたは介護のために1日以下の単位（半日単位や時間単位を含む）で仕事を休んだことがありますか。

※介護開始時以降に勤務先が変わった方は、どの勤務先でもよいので、休暇をとったことがあった場合は「ある」とお答えください。

（回答は1つ）

☐ ある

☐ ない

次のページ

Q112 どのような方法で休みましたか。あてはまるものをすべてお答えください。

（回答はいくつでも）

☐ 介護休暇を利用した

☐ 年次有給休暇を利用した

☐ その他の休暇制度を利用した

☐ 欠勤または制度によらない方法で休んだ

次のページ

Q113 1年間に介護のために最も多く休んだのは、次のどの年に当たりますか。

※介護期間が1年以内の人は、「介護発生直後の1年間」をお選びください。

（回答は1つ）

☐ 介護発生直後の1年間

☐ 介護終了直前の1年間

☐ 上記以外の介護中の1年間

次のページ

Q114 1年間に介護のために最も多く休んだのは何日でしたか。また、そのうち介護休暇を取得したのは何日でしたか。

〈回答は半角数字で入力〉

※連続した期間の介護休業を取得した方は、その期間を含めず、1日単位で休んだ日数のみお答えください。
※もともと仕事がない日曜・祝日・年末年始・夏休み等に介護を行った場合は、休んだ日数には含めないでください。

年間の通算取得日数: 日

そのうち、介護休暇を使った日数: 日

次のページ

Q115 休暇を利用してあなたが行った介護内容をお答えください。

〈回答はいくつでも〉

☐ 介護に関する情報収集や関係機関（自治体、介護サービス事業所など）への相談等（病院・介護施設などの下見を含む）
☐ 要介護者の介助（トイレ・入浴・食事などの介助）
☐ 要介護者の家事（炊事・洗濯・掃除）支援や定期的な声かけ・見守り
☐ 金銭の管理
☐ 病院や介護施設の手続きや送迎（入退院とその手続き、入退所やその手続き、通院・通所の送迎・付き添い、救急搬送・緊急入院等の急変時の対応など）
☐ 介護保険の受給手続き（要介護認定、ケアマネージャーやかかりつけ医との面談など）
☐ 関係機関（病院・介護施設など）からの不定期な呼び出し対応
☐ 要介護者の住環境の整備（バリアフリー住宅への改修、転居、施設入所の準備など）
☐ 介護をしている他の家族・親せきの手助け・サポートなど
☐ 要介護者とともに過ごす（外出や旅行、話し相手など）
☐ 終末期の対応（緊急入院や容態急変時の対応、臨終の立ち会いなど）
☐ その他 具体的に：

次のページ

Q116 介護のために仕事を休みづらいと感じたことはありましたか。

〈回答は1つ〉

☐ たびたびあった
☐ たまにあった
☐ なかった

次のページ

Q117 休みづらいと感じたのはいつごろのことでしょうか。

〈回答はいくつでも〉

☐ 介護発生当時（介護発生後最初の3か月程度の時期）
☐ 介護終了当時（介護終了前3か月程度の時期）
☐ 介護中（上記を除く間の時期）

次のページ

Q118 あなた自身の趣味やレジャーのようなリフレッシュのために仕事を休むことは、介護中にありましたか。

〈回答は1つ〉

☐ たびたびあった
☐ たまにあった
☐ なかった

次のページ

Q119 介護中に、要介護状態が重くなる病気やケガを $\%q2[\%]\%$ が新たにしたことありましたか。

※かぜのような短期間で快復する病気等は含まずにお答えください。
(回答はいくつでも)

- ☐ 脳血管疾患（脳卒中）
- ☐ 心疾患（心臓病）
- ☐ 悪性新生物（がん）
- ☐ 呼吸器疾患
- ☐ 関節疾患
- ☐ 認知症
- ☐ パーキンソン病
- ☐ 糖尿病
- ☐ 視覚・聴覚障害
- ☐ 骨折・転倒
- ☐ 脊髄損傷
- ☐ 高齢による衰弱
- ☐ 身体障がい
- ☐ 知的障がい
- ☐ 精神障がい
- ☐ その他（具体的に）
- ☐ わからない
- ☐ 要介護状態が重くなる病気やケガはなかった

次のページ

【介護施設の利用について】

Q120 $\%q2[\%]\%$ は、特別養護老人ホーム（特養）や老人保健施設（老健）等の介護施設で生活していたことはありますか。

※ショートステイのような短期間の利用は含まないでお答えください。
(回答は1つ)

- ☐ ある
- ☐ ない

次のページ

【介護期間】 $\%n[1]\%n[2]\%$ 月～ $\%n[3]\%n[4]\%$ 月

Q121 最初に介護施設で生活を始めたのはいつですか。

(回答は半角数字で入力)

年 月

次のページ

Q122 介護施設に関する情報収集や施設の下見はあなたがしましたか。

(回答は1つ)

- ☐ すべて自分がした
- ☐ 主に自分がしたが、他の家族や親せきもした
- ☐ 主に他の家族や親せきがしたが、自分もかなりした
- ☐ 主に他の家族や親せきがしたが、自分も少しはした
- ☐ 自分はしなかった

次のページ

Q123 介護施設に関する情報収集や施設の下見のために仕事を休むことはありましたか。

(回答はいくつでも)

- ☐ 介護休業等、まとまった期間の休みをとった
- ☐ 介護休暇等、1日以下の単位で休みをとった
- ☐ 仕事を休むことはなかった（仕事をしていた）

次のページ

Q124 最初に介護施設に入った後、介護中にその施設を出て、ご自宅で生活するようになったことはありますか。

※一時帰宅は含まず、生活の場を介護施設から自宅に移した場合についてのみお答えください。
 ※ここでいう「自宅」には、あなたや要介護者の自宅だけでなく、他の家族や親せきの自宅も含まれます。
 (回答は1つ)

☐ ある

☐ ない

次のページ

Q125 介護中に何回、介護施設に入りましたか。

※1回施設を出て、その後再び施設に入らなかった場合は1回、再び施設に入った場合は2回と数えてください。
 (回答は半角数字で入力)

回

次のページ

Q126 最初に介護施設に入った後、その施設を出て、別の介護施設に入り直したことはありますか。

(回答は1つ)

☐ ある

☐ ない

次のページ

Q127 介護中にいくつの介護施設に入りましたか。

(回答は半角数字で入力)

か所

次のページ

Q128 介護施設に入っていた期間は、通算してどのくらいでしたか。

(回答は1つ)

☐ 1か月以内

☐ 1か月を超え3か月以内

☐ 3か月を超え6か月以内

☐ 6か月を超え1年以内

☐ 1年を超え2年以内

☐ 2年を超え3年以内

☐ 3年を超え4年以内

☐ 4年を超え5年以内

☐ 5年を超える期間

次のページ

【入院の経験】

Q129 介護中に介護施設に入院したことがありますか。

(回答は1つ)

☐ ある

☐ ない

次のページ

Q130 介護発生から終了までに、合計で何回入院しましたか。

(回答は半角数字で入力)

回

次のページ

Q131 どのようなときに入院しましたか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。

〈回答はいくつでも〉

- ☐ 要介護状態になるきっかけとなった病気やケガをしたとき
- ☐ 介護中に病気やケガの状態が悪くなったとき
- ☐ 介護中に上記とは別の病気やケガを新たにしたとき
- ☐ 介護が終わるとき（病院で亡くなった等）

次のページ

Q132 通算してどのくらいの期間入院していましたか。

〈回答は1つ〉

- ☐ 1か月以内
- ☐ 1か月を超え、3か月以内
- ☐ 3か月を超え、6か月以内
- ☐ 6か月を超え、1年以内
- ☐ 1年を超え、2年以内
- ☐ 2年を超え、3年以内
- ☐ 3年を超え、4年以内
- ☐ 4年を超え、5年以内
- ☐ 5年を超える期間

次のページ

Q133 入退院の手続きや付き添いをあなたはしましたか。

〈回答は1つ〉

- ☐ すべて自分がした
- ☐ 主に自分がしたが、他の家族や親せきもした
- ☐ 主に他の家族や親せきがしたが、自分もした
- ☐ 自分はしなかった

次のページ

Q134 入退院の手続きや付き添いのために仕事を休むことはありましたか。

〈回答はいくつでも〉

- ☐ 介護休業等、まとまった期間の休みを取った
- ☐ 介護休暇等、1日以下の単位で休みを取った
- ☐ 仕事を休むことはなかった（仕事をしていた）

次のページ

Q135 介護発生当時、あなたの同居家族の中で、収入をともなう仕事をしていた人はいましたか。

〈回答はいくつでも〉

- ☐ 同居の父（配偶者の父を含む）
- ☐ 同居の母（配偶者の母を含む）
- ☐ 配偶者
- ☐ 子ども
- ☐ 同居の兄弟・姉妹（配偶者の兄弟・姉妹を含む）
- ☐ その他の家族 具体的に：
- ☐ 収入をともなう仕事をしていた人はいない

次のページ

Q136 介護発生当時の%%q2[%%]はどのように暮らしていましたか。

〈回答は1つ〉

※介護のきっかけとなる病気やケガで一時的に入院していた場合は退院後の生活についてお答えください。

- ☐ あなたと同居していた
- ☐ あなたとは別居し、他の家族や親せきと同居していた
- ☐ 要介護者一人で暮らしていた
- ☐ 介護施設や医療施設で生活していた

次のページ

Q137 介護が始まる前から同居していましたか。

〈回答は1つ〉

- ☐ 介護が始まる前から同居していた
- ☐ 介護発生を機に同居を始めた

次のページ

Q138 同居家族にその要介護者の介護をしていた人は、あなた以外にいましたか。

〈回答は1つ〉

- ☐ いた
- ☐ いなかった

次のページ

Q139 介護の途中から、%%q2[%%]があなたと別居することはありましたか。

※要介護者が病院や介護施設に入った場合、その入院・入所が一時的な場合は同居、永続的である場合は別居とお考えください。

〈回答は1つ〉

- ☐ 介護の途中から別居することがあった
- ☐ 介護の途中で別居することはなかった

次のページ

【介護期間】 %%r[1]%%年%%r[2]%%月～%%r[3]%%年%%r[4]%%月
介護の途中から、要介護者と別居した方におうかがいします。

Q140 あなたと%%q2[%%]が別居するようになったのはいつごろですか。

※同居と別居を複数回繰り返した方は最初に別居した時期をお答えください。

〈回答は半角数字で入力〉

年 月から別居

次のページ

Q141 %%q2[%%]は、あなたの自宅から片道でどのくらい離れたところに住んでいましたか。

※通常使う交通手段での所要時間をお答えください。

〈回答は1つ〉

- ☐ 30分未満
- ☐ 30分以上～1時間未満
- ☐ 1時間以上～1時間30分未満
- ☐ 1時間30分以上～2時間未満
- ☐ 2時間以上～3時間未満
- ☐ 3時間以上

次のページ

Q142 介護の途中で、次のような理由から、%%q2[]%%があなたと同居することはありましたか。

(回答はいくつでも)

- ☐ 要介護者と同居していた他の家族・親せきが介護できなくなって同居した
- ☐ 介護施設や医療施設等を出ることになって同居した
- ☐ 要介護者一人で暮らすことが困難になって同居した
- ☐ あなたの都合により、同居できるようになって同居した
- ☐ その他の理由で同居した 具体的に：
- ☐ 介護の途中で同居することはなかった

次のページ

【介護期間】 %%n[1]%%年%%n[2]%%月～%%n[3]%%年%%n[4]%%月

Q143 %%q2[]%%があなたと同居ようになったのはいつですか。

※同居と別居を複数回繰り返した方は最初に同居した時期をお答えください。
(回答は半角数字で入力)

年 月から同居

次のページ

Q144 介護終了当時、%%q2[]%%はどのように暮らしていましたか。あてはまるものをお答えください。緊急入院した後亡くなった場合や、退院時に快復して介護が終了した場合は、入院前の状況をお答えください。

(回答は1つ)

- ☐ あなたと同居していた
- ☐ あなたとは別居し、他の家族や親せきと同居していた
- ☐ 要介護者一人で暮らしていた
- ☐ 介護施設や医療施設で生活していた

次のページ

介護終了当時、要介護者と離れて暮らしていた方におうかがいします。

Q145 %%q2[]%%は、あなたの自宅から、片道どのくらい離れたところに住んでいましたか。

※通常使う交通手段での所要時間をお答えください。
(回答は1つ)

- ☐ 30分未満
- ☐ 30分以上～1時間未満
- ☐ 1時間以上～1時間30分未満
- ☐ 1時間30分以上～2時間未満
- ☐ 2時間以上～3時間未満
- ☐ 3時間以上

次のページ

Q146 %%q2[]%%の介護と並行して、他の家族や親せきの介護をあなたが同時にすることはありましたか。あてはまるものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

- ☐ 同居の家族や親せきを同時に介護していた
- ☐ 別居の家族や親せきを同時に介護していた
- ☐ いずれもない

次のページ

Q147 どのような経緯で複数の家族や親せきをあなたが同時に介護することになりましたか。

(回答は1つ)

- ☐ 介護発生当時から、複数の家族や親せきを同時に介護していた
- ☐ 介護発生後に、新たに別の家族や親せきが要介護状態になった

次のページ

Q148 %q2[]%が介護発生から介護終了までの介護中に、自宅で生活してきた期間は通算でどのくらいでしたか。

※ここで言う「在宅」には、あなたや要介護者のご自宅だけでなく、他の家族や親せきのご自宅での介護も含めてお答えください。
(回答は1つ)

- ☐ 1か月以内
- ☐ 1か月を超え、3か月以内
- ☐ 3か月を超え、6か月以内
- ☐ 6か月を超え、1年以内
- ☐ 1年を超え、2年以内
- ☐ 2年を超え、3年以内
- ☐ 3年を超え、4年以内
- ☐ 4年を超え、5年以内
- ☐ 5年を超える期間
- ☐ 介護中に自宅で生活していたことはなかった

次のページ

Q149 %q2[]%が利用していた在宅介護サービスをお答えください。

(回答は1つでも)

- ☐ 訪問サービス（ホームヘルパーや訪問看護等）
- ☐ 通所サービス（デイサービスやデイケア等）
- ☐ 短期入所サービス（ショートステイ等）
- ☐ その他 具体的に：
- ☐ 在宅サービスは利用していなかった

次のページ

Q150 在宅介護サービスを利用し始めたのは、介護発生からどのくらい後でしたか。

(回答は1つ)

- ☐ 1か月以内
- ☐ 1か月を超え、3か月以内
- ☐ 3か月を超え、6か月以内
- ☐ 6か月を超え、1年以内
- ☐ 介護発生後、1年を超えてから

次のページ

Q151 最初に利用したのは、どのような介護サービスでしたか。またどのくらい利用していましたか。

※選択肢が1つしか表示されない場合は、その選択肢を選んでお進みください。
※利用頻度が週(月)に1日未満の場合は「0」日とお答えください。

(回答は1つでも)

- ☐ 訪問サービス（ホームヘルパーや訪問看護等） 週に 日
- ☐ 通所サービス（デイサービスやデイケア等） 週に 日
- ☐ 短期入所サービス（ショートステイ等） 月に 日
- ☐ その他（%q154x[4]%） 具体的な頻度：

次のページ

Q152 最初のケアプランはあなたの希望にそうものでしたか。

(回答は1つ)

- ☐ そう思う
- ☐ どちらかといえば
そう思う
- ☐ あまり
そう思わない
- ☐ そう思わない

次のページ

Q153 %%q2[]%%の介護中に、介護が原因で、あなたがケガや病気をしたことは介護中にありましたか。

（回答は1つ）

- ☐ あった
- ☐ なかった

次のページ

【介護期間】 %%n[1]%%年%%n[2]%%月～%%n[3]%%年%%n[4]%%月

Q154 %%q2[]%%の介護中に、あなたが介護が原因でケガや病気をしたのは、いつでしたか。

※医師等の診断を受けた方は、その年月をお答えください。

※複数のケガや病気の経験がある方は最初に診断を受けた年月をお答えください。

（回答は半角数字で入力）

年 月

次のページ

Q155 その介護中の病気やケガのためにあなたは仕事ができなくなることがありましたか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。複数のケガや病気の経験がある方は最初の疾患についてお答えください。

（回答はいくつでも）

- ☐ その病気やケガのために仕事を休んだ
- ☐ その病気やケガのために仕事を辞めた
- ☐ その病気やケガのために就職を断念した
- ☐ いずれもあてはまらない

次のページ

Q156 あなたの介護疲労の回復や介護ストレスの解消のために、リフレッシュする時間は介護中にありましたか。

（回答は1つ）

☐ あった ☐ ややあった ☐ あまりなかった ☐ なかった

次のページ

Q157 %%q2[]%%の介護のために、あなたはどのくらい連続して仕事を休む必要がありましたか。実際に取得した日数ではなく、必要だったと思う日数を回答してください。

（回答は1つ）

- ☐ 通算して1週間以内
- ☐ 通算して1週間を超え2週間以内
- ☐ 通算して2週間を超え1か月以内
- ☐ 通算して1か月を超え2か月以内
- ☐ 通算して2か月を超え3か月以内
- ☐ 通算して3か月を超え6か月以内
- ☐ 通算して6か月を超え1年以内
- ☐ 通算して1年を超え2年以内
- ☐ 通算して2年を超える期間
- ☐ 連続して仕事を休む必要はなかった

次のページ

Q158 介護のためにあなたが連続して仕事を休む必要があったのは、どの時期でしたか。あてはまる時期をすべてお答えください。

（回答はいくつでも）

- ☐ 介護発生直後（介護発生後最初の3か月程度の時期）
- ☐ 介護終了直前（介護終了前3か月程度の時期）
- ☐ 介護中（上記を除く間の時期）

次のページ

〈4〉仕事と介護の両立の意識についてうかがいます。

Q159 今後あなたがご家族や親せきを介護することになった場合に、仕事と介護のバランスを自由にとれるとしたら、どのようにしたいですか。

〈回答は1つ〉

- ☐ 介護があっても、なるべく介護をする前と同じように働きたい
- ☐ やや仕事を減らして、介護の時間をとれるようにしたい
- ☐ 大幅に仕事を減らして、なるべく介護の時間をとれるようにしたい
- ☐ 仕事はしないで、介護に専念したい
- ☐ わからない

次のページ

Q160 今後あなたがご家族や親せきを介護することになった場合、介護のためにご自身の残業を調整できるとしたら、どのような方法をとりたいですか。

〈回答は1つ〉

- ☐ 残業は一切しない
- ☐ 週単位、月単位などで残業できる時間を決める
- ☐ 特定の曜日を決めて残業を免除する
- ☐ 残業が可能な日数を週単位や月単位で設定する
- ☐ わからない

次のページ

〈5〉あなたご自身やご家族のことについてうかがいます。

Q161 あなたは何人きょうだいの何番目ですか。その要介護者の介護発生前に死別したきょうだいは除いてお答えください。

〈回答は半角数字で入力〉

人きょうだいの 番目

次のページ

Q162_1 あなたには現在、配偶者はいますか(事実婚を含む)。

〈回答は1つ〉

- ☐ いる
- ☐ いない

次のページ

前問で、「配偶者がいる」とお答えの方にはうかがいます。

Q162_2 ご結婚された時期をお答えください。

〈回答は半角数字で入力〉

年 月

次のページ

Q163 配偶者は何人きょうだいの何番目ですか。その要介護者の介護発生前に死去したきょうだいは除いてお答えください。

〈回答は半角数字で入力〉

人きょうだいの 番目

次のページ

Q164 現在の配偶者のお仕事をお選びください。

〈回答は1つ〉

- ☐ フルタイム・常勤の雇用
- ☐ パートタイム・非常勤の雇用
- ☐ 自営業・自由業・会社経営者・役員など雇用以外の形態
- ☐ 無職

次のページ

Q165 あなたにはお子さんがいますか。お子さんがいる場合は、人数もお答えください。

〈回答は1つ〉

- ☐ いる 人
- ☐ いない

次のページ

Q166 一番年上と年下のお子さんの生年月をお答えください。

〈回答は半角数字で入力〉

※お子さんが1人の場合は、年上のお子さんの欄に記入してください。

年上のお子さんは 年 月生

年下のお子さんは 年 月生

次のページ

Q167 あなたの最終学歴は次のどれにあたりますか。

〈回答は1つ〉

- ☐ 中学校卒業
- ☐ 高校卒業
- ☐ 専門学校（高校卒業後入学）
- ☐ 短期大学・高等専門学校卒業
- ☐ 大学・大学院卒業
- ☐ その他 具体的に：

次のページ

Q168 現在、あなたは収入をともなう仕事をしていますか。

〈回答は1つ〉

- ☐ している
- ☐ していない

次のページ

Q169 現在のあなたの従業員上の地位はどれですか。

〈回答は1つ〉

- ☐ 会社経営者・役員・自営業・自由業・内職・家族従業員（雇用以外の形態）
- ☐ 正規従業員（会社などの正社員・正職員として雇用される労働者、短時間正社員含む）
- ☐ パート・アルバイト・非常勤（通常の労働者より週の所定勤務時間が短い労働者。学生のアルバイトは除く）
- ☐ 契約社員（正規従業員以外で週の所定勤務時間が通常の労働者と同じ労働者）
- ☐ 派遣社員（労働者派遣法にもとづく派遣会社から派遣される労働者）

次のページ

Q170 現在のあなたの役職は次のどれに当たりますか。

〈回答は1つ〉

☐ 部長以上

☐ 次長

☐ 課長

☐ 課長より下の役職

☐ 役職なし

次のページ

Q171 あなたの現在の心身の健康状態はいかがですか。

〈回答は1つ〉

☐ 良い

☐ どちらかといえば良い

☐ どちらかといえば良くない

☐ 良くない

次のページ

Q172 過去1年間のあなた個人の収入と、あなたのお宅の全収入は、税込で次のどれに近いでしょうか。

〈回答は1つ〉

	100万円未満	100万円～200万円未満	200万円～300万円未満	300万円～400万円未満	400万円～600万円未満	600万円～800万円未満	800万円～1000万円未満	1000万円～1200万円未満	1200万円～2000万円未満	2000万円以上	収入はない	わからない
あなたの収入	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	--
お宅の全収入	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

次のページ

【回答内容についての最終のご確認】

Q173 ここまでご回答いただいた介護は、先日のアンケートで「%n[1]%年%n[2]%月～%n[3]%年%n[4]%月」まで介護をしていたとご回答いただいた「%q2[%]%」の介護でお間違いないですか。
間違いがある場合は、括弧の中に具体的な内容をご記入ください。

〈回答はいくつでも〉

☐ 間違いはない

☐ 要介護者（続柄）が異なる
具体的に：

☐ 介護期間が異なる
具体的に：

☐ その他
具体的に：

次のページ